

「幸福度ランキング」(2024年) 上位40位

1	フィンランド	6	オランダ	11	ニュージーランド	16	ベルギー
2	デンマーク	7	ノルウェー	12	コスタリカ	17	アイルランド
3	アイスランド	8	ルクセンブルク	13	クウェート	18	チェコ
4	スウェーデン	9	スイス	14	オーストリア	19	リトアニア
5	イスラエル	10	オーストラリア	15	カナダ	20	イギリス
21	スロベニア	26	ウルグアイ	31	台湾	36	スペイン
22	アラブ首長国連邦	27	フランス	32	ルーマニア	37	セルビア
23	アメリカ	28	サウジアラビア	33	エルサルバドル	38	チリ
24	ドイツ	29	コソボ	34	エストニア	39	パナマ
25	メキシコ	30	シンガポール	35	ポーランド	40	マルタ

【基本項目】：自分にとって、「最良の人生から最悪の人生まで」
11段階(0~10)に分けた時、今どの段階にいると感じるか？

「幸福度」
チエツク項目

①一人当たりGDPの大きさ	②健康寿命の長さ	③社会的支援の充実ぶり	④人生の選択の自由度	⑤他者への寛容さ	⑥社会の腐敗の少なさ
豊かさを表す一人当たりのGDPを高めているか？	生きる期間と健康寿命の差を縮めているか？	困った時に相談したり、頼れる人がいるか？	生き方を自由に選択し、満足しているか？	過去1か月に募金やボランティア活動をしたか？	世の中で汚職や不祥事が横行していないか？

3月20日「世界幸福デー」に国連が発表する「幸福度(≒Well-being度)ランキング」は日本51位(2024年)

- 特に④「人生の選択の自由度=人生で何をするかを選択できる自由度」と⑤「他者への寛容さ=意見や立場が異なる人にどれだけ理解を示せるか」が低い。—— 私達日本人は「不寛容で選択肢の少ない息苦しい社会環境の中で我慢しながら生きている」ということである。改善の余地は大きい
- そして「未来の姿」(例えば現40代が90代になる50年後の姿)を織り込むと「生きる期間」はもっと伸びているので、②健康寿命との“差”を縮めることに今の時点から取り組まなければならない